

▼特別寄稿

こうして実現できた！プロジェクトF

「Webマスターサミットinふくい

裏側徹底レポート！」

ミーツ・コミュニケーション・デザイン  
福嶋祐子 (http://meets.jp/)

こんにちは。福嶋祐子です。

2004年2月27日(金)2  
8日(土)の二日間開催された  
『Webマスターサミットin  
ふくい(以下、サミット)』が、

「なぜ福井で、のべ800人も

動員できたのか？」をお話させ  
ていただきますね。

まずは、その結果から。  
(講演の「動画」・講師の「声」  
が聞きたい方は、公式サイト  
http://www.websummit.jp  
でお楽しみいただけます。)



●特別セッション・基調講演

ゾーン1 360名  
ゾーン2 150名  
計 510名

●有料セミナー ※有料入場者のみ

A.パート 99名(当初定員60名)  
B.パート 97名(当初定員60名)  
C.パート 65名(当初定員60名)  
D.パート 60名(当初定員60名)  
計 321名(当初定員240名)

参加者数合計(延べ):831名

※ゾーンと各パート参加者には重複があり延べ  
参加者人数。  
※どつと混む(後述)のメンバー等、運営協力  
者はカウントされていませんので、実質的な入  
場者数と言えます。  
※参加者の福井県内と県外の比率は約7対3

次に、少し自己紹介を。

私自身は、大阪出身の大阪育ち。社会人生活

を神戸で過ごしていた関西人です。結婚した人  
がたまたま福井出身だった縁で、01月年5月  
に福井に当時1歳目前だった上の子と3人で引  
越しまして、まだ福井歴は3年弱。その前は  
会社員として、ホームページ制作やレンタルサ  
ーバーを運営していた会社に在籍していました。

小さな会社でしたが、逸品・森本さんやイー  
ジー・岸本さん、なども、お客様としてサポー  
トさせていただく機会があり、今にして思えば、  
easy.ne.jp や osmc.ne.jp のドメイン申請をし  
ていたのは、実は私なのでした。懐かしいです。



《皆さん真剣!》

## ■開催までのドキュメント

1. そもそも、なんでやることになったの？それ、10月突然に？

まず、イベントの企画運営を中心的に担った「福井インターネット通販研究会（通称どっと混む FUKUI）」以下、どっと混む



http://www.surboard.co.jp/shop/」という団体についての説明をせねばなりませんね。

どっと混むは、99年に発足した任意団体で、初代会長はこちらでもおなじみ「米五のみそ・多田さん」。サミットの主催団体である「財団法人 福井県産業支援センター（以下、支援センター）」主催のセミナー事業で出会った県下のウェブマスター数名が、引き続き交流していこう、と意気投合したことがきっかけに発足しました。

福井で「ネットショップをがんばるぞ！がんばってるぞ！」という方が経営者から担当者まで、個人として参加しており、現在では40名を超えるWebマスター集団になっています。

活動は、MLでの交流（激しい日は、日に百通ペース）をベースに、勉強会の開催、そして大事な飲み会（笑）などを定期的の実施。毎年、年末には解散し、毎年少なくともメンバーが入れ替ることで、スムーズな新陳代謝が行われています。また、会長の選出についても再選禁止規定があり（会長は毎年変わります）、会運営のマンネリ化・硬直化を招かないよう注意が払われています。また、「会長独裁」のスローガンのもと、運営内容には会長のカラーが色濃く反映されるのも面白いところです。

私は、どっと混む勉強会講師として03年3月に「メディアが取り上げるプロモーション術とは？」を講演させていただいた事がきっかけとなり、がんばっているショップさんの応援ができればと、その7月に入会したのです。

そして、直後の10月に「来年の勉強会、どんなのやりたい？」という話になったときに、会の事務局兼サーバー提供の「サーフボード・田嶋さん (http://www.surboard.co.jp)」の投稿が、口火を切る直接のきっかけに……。

10月22日（水）

Subject: 今後取り組むテーマを整理しました。  
From: 田嶋節和  
このとき、あがっていたテーマは様々で約30。どれもこれも、魅力的でした。

10月24日（金）

Subject: Re: 今後取り組むテーマを整理しました。  
From: 大木@支援センター

たとえば、カンファレンス形式で、ある程度まとめて勉強する機会を設けるというアイデアはどうですか？

このときに大木さん作の私案が投稿され、サミットは、記念すべき二歩目を踏み出します。この後「ぜひやってみよう」という投稿が相次ぎました。

10月27日（月）

Subject: Web マスター会議 in ふくい（仮称）について  
From: 大木@支援センター  
さらに、充実した案が投稿されました。まだまだ、たたき台の状態。

10月29日（水）

支援センターが主催するメルマガ講座の終了飲み会が、二国の民宿「おとおく」さんで開催。受講生の多くがどっと混むメンバーであり、サミットのことも話し合おう、と事前にMLで流れていたため、オープンな飲み会に。私も参

加しまして、講師を勤めていたえとコミ塾の廣川さん・床さんと初めてお会いする事に。

ここでは、細かい内容について議論したというよりは、開催に向けての熱い思いや、協力の意思が参加者から表明されました。また、ここに集まったメンバーの多くが、サミットを支えるコアメンバーになったことを考えると、この飲み会が、いわゆる発起会の役割を果たしたといえるでしょう。

また、飲んだ勢い（私自身は、雰囲気酔っぱらう下戸…）も手伝って「基調講演は、ほぼ日刊イトイ新聞 (<http://www.1101.com/> 以下、ほぼ日) の糸井さんでしょう！」で盛り上がります。そして、今にして思えば、「かに・かに」って連呼していた床さん…(笑)。

10月30日(木)

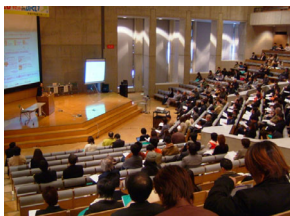
Subject: ウェブマスターサミット@福井(仮称)について

From: 大木@支援センター

飲み会での意見も参考に、骨子作りますね。なんだか御輿に担がれて、降りられなくなってます(笑)

というコメントのとおり、さあ船が出たという状況。この日、めでたくイベント準備用のM

Lがどつと混む会員MLとは別に作成されました。イベント名称も、かなり最終形に近くなってきました。(最後にこの名称でひとめあるのですが…苦笑)



大盛況だったゾーンイ会場

2. やるぞ！でも準備は山盛り、さあ何からっく難航するプログラム作り

10月31日(金)

Subject: Re: ウェブマスターサミット@福井(仮称)について

From: 大木@支援センター

まだまだ私案とことわりつつも、かなりまとまった大木さんの力作が投稿される。

11月3日(月)

準備に向けて、第一回ミーティング実施@産業支援センター

十名弱のメンバーが集まり、支援センター@推進室の皆さんも参加され、ブレインストーミング。

11月5日(水)

全体プログラム第一案が、大木さんから提出される。ミーティングでの意見を反映したもの。

この時点では、なんと、会場は6つに分かれ、対象は初心者から実践者、ウェブ制作のデザイナー向けから技術者向けまでと幅広いものでした。

11月6日(木)

この前後で、大木さんは、毎日のようにプログラム案を改定しては、サミットスタッフMLに投稿。試行錯誤が続きます。そんな中、私がサミットスタッフMLの方へ投げかけたこと。

Subject: うあいさつ(笑)

From: 福嶋祐子

これまでのやりとりで、気になったことは、私自身は、開催の目的が「一番大事なことは、

1. 近真の人が参加しやすい
2. 全国から人を呼ぶ

だと思っていたのですが、どうも、

1. 全国から人を呼ぶ
  2. 近真の人が参加しやすい
- のような「うあいさつ」と、感じてきて、方向性が見えなくなってきました。

どちらを重要視するか、ですが、今ままとってきたプログラム案を見る限りでは、どちらも。って感じですよ(笑)

これは、すぐに前者でしょう!と、再認識。全国から人が集まって欲しいけれど、それはやはり、副産物。まずは、初志であった「自分たちが話を聞きたい人を、福井に」これを素直に実行すればいいのでは、という意識がたかまつ

てきました。

しかし、このあたりで、一度MLへの投稿は停滞期を迎えます。様々な思いを1つにまとめる事の難しさが、徐々に顔をだしてきた頃でした。

11月21日(金)

Subject: WEB マスターサミットの進捗は

From: 田嶋節和

サーフボード田嶋さんから、絶妙なツッコミが入ります(笑)

そして、大木さんより

サミットの企画ですが最初の構想より、ちよつと小さくなっちゃいましたが、だいぶまとまってきたと思います。  
(つていうか、もうきめなくちゃいけないんですかね)

今の分類はこんな感じ

- 地域製造業 (食品系) 実践事例
- 地域製造業 (工業系) 実践事例
- 小売・卸売業 実践事例
- 宿泊観光業 実践事例
- 地域伝統工芸業 実践事例
- ニッチビジネス 実践事例

あれ、まだこんな事言ってます(笑)。開催

予定日まで、もう2ヶ月目前!こんな事で間に合うのか……。

11月22日(日)

Subject: Re: WEB マスターサミットの進捗は

From: 田嶋節和

1) 産直、こだわりネットショップ事例発表と討論

2) 製造メーカーのWEB活用事例発表と討論

3) 宿泊、サービスマスターネット対応

4) SOHOのネットビジネス事例発表

の4つのテーマに絞っても良いように思います。(あー、大木さんはテーマをもっと多くしたいと考えているのかな?)

11月26日(水)

Subject: シンポジウム

From: はんこねつと小林照明

はんこねつと 小林です。

込山さんの日記を読んでいらっしやる方もたくさんおられますが、「地域サイトネットワークキックオフシンポジウム」に参加したらどうでしょうか?

福井にお招きするのなら、まずはこちらから当たりをつけに行くのもよいのでは……

来ていただくには、自分たちがまず出かけるては!というナイスな提案が、のちに次期会

長にご指定される小林さんから投稿されました。  
敏感肌向けスキンケア・アピナス内田さんが、  
東京出張に合わせて、東京会場へ参加。  
大阪会場には、小林さんをはじめとして5名  
が、参加することに……。



〈ゾーン2会場〉

11月27日(木)

どっと混む忘年会@グランディア芳泉(吾原  
温泉の老舗で、予約係の工藤さんがメンバー)  
泊まりで開催。この席でめでたく時期会長が、  
「はんこねつと小林さん」に決定!

本来ならば、毎年12月開催のところを、イ

ベント実現のために、気持ち前倒し日程での実  
施でした。ここまででできあがっていたプラン  
を元に、飲みながらの大宴会で激論!

ここでは、サミット開催への全面的な協力が  
メンバーの全員一致で了承され、どっと混むの  
サミットへの協力体制が正式に整いました。

### 3. 予算の心配はなくなった

〈キーワードは「愛」〉

11月28日(金)

Subject: そこに愛はあるか  
From: 大木@支援センター

昨日はお世話になり、ありがとうございました。  
サミットの件、実施方法および予算など骨格に  
ついて、本日、センター内の了解がとれました。  
いろいろ「意見をいただきありがとうございます」  
しました。

この時点でようやく予算などの大枠ができあ  
がってきます。お金回りは、支援センターにお  
任せで進める事ができる、という事であり、ど  
っと混むとしては、資金に関しての心配はな  
くなりました。

また、支援センターの人員を最大限当日の受  
付対応に出される事になり、「受付のお手伝いを  
どっと混むで行うなら、みんなセミナー受講が  
出来ないのでは?」という不安も払拭されまし  
た。

Subject: Re: そこに愛はあるか  
From: 大木@支援センター

サーフボード 田嶋さん

▼いろいろな予算配分に紐付きが絡んで大変  
なのでですね。

▼意見を言うのは簡単だけど、まとめていくの  
は大変だと思います。大木さんご苦労様です。

本当は、予算要求のときに「サミットをする」  
って言うって、予算確保するのが本筋なんですけ  
どね(笑)

そうすればこんなことで苦労することはない  
入場料無料とかにもできたかもしれないです。

でも予算要求って、一年以上前に要求しないと  
いけないのでそのうちに熱意が冷めてしまっ  
たり、ニーズが変化したりすることは良くあるこ  
とです。

また、実施までに担当者が変わってしまい、趣  
旨が引き継がれないといったことも起こりまし  
ます。

それと、予算額が決まることで、実施するものが義務になったりすると、今みたいに「別に要望がなければやらない」とか無責任なこともいえずなくなるし(笑)↑冗談です。ちゃんとやりま

す。

やるのが義務になったりすると、こういうイベントって、面白くないものにならないと思っ

すよね。

今回のやり方はイレギュラーかもしれないけれど、ホントにやりたい時に、やりたい人がやるというので、必ずや面白いものになると思っ

ているのです。

おっと、話が横道にそれましたが、とにかく今回のイベントは、自分達のやりたいことを、楽しくやればそれでいいかな、と思っ

11月29日(土)  
Subject: キーワードについての説明  
From: 大木@支援センター

あの「テーマは」に愛はあるか「って言うの」っていわれても反論しづらいのかもこれないですね(笑)

でも僕は、今は、このテーマしか考えられない(笑) いいテーマを見つけれたら「機嫌です」(顔に似合わないけどね)

このテーマの意図を説明しますね。

シーティングの時だけじゃなくて、その後の忘年会、飲み会(4時まで!)での話でもそうですが、やっぱり最終的に、商品への「お客様さんへの」(「も」もあるかも)「愛」というか真心というか誠実がないと、「セモノ」になる。

もちろん、その商品を愛するお客様に売りたいってものもあるし。

現在、売るためのノウハウがあふれて、ともすると、それに流され縛られ肝心の愛(「」)を忘れそうになります。

愛がなくても、それを表現すれば売れるという

今の風潮。その「」を皆の人も感じられていて、「何となく居心地の悪い」感覚を感じられているのではないかな。

一時的な売り上げ増でなく、継続していくには、やっぱり「」をベースにしなから「ノウハウを展開しないといけない。

そんな思いを込めたテーマです。

だからテーマは「」(「」)はあるか「でもないんです。

愛がないと、メルマガも1週間に1回だせないでしょう? (笑)

ああ、「お金への愛」ってのもあるから、それはそれで一時的に行動する大きな動機にはなるけど、それは長くは続かない(笑)

特に、福井のショップオーナーは、お金に困っている人は少なそうだから、お金以外の愛がないとだめでしょう? そんなことないですか? (笑)

12月1日(月)  
Subject: Web マスターサミット発進  
From: 大木@支援センター

ほぼ最終版のプログラムです。

詳細は変更する場合がありますが、骨格は変わらないと思います。

一応、この資料で、明日から各講師にアポイントを取っていくつもりです。

この時点でのプログラム内容に盛り込まれ、最終的に消えたものとして

- ・クリエイター向け、Webサイトのユーザビリティ指南
  - ・デジカメ撮影テクニック講座
  - ・Webクレーム博覧会
  - ・基調講演（会場を分けて、全体に聴講していただく大がかりなもの）
- などがありました。



〈Aパート会場〉

### 3. 講師候補の皆さんへの交渉開始

くなかなか決まらない基調講演く

やっと、講師への正式な交渉ができる！  
ここで、私は、目玉となる「基調講演」「大手モールがっぷり四つ対談」枠の段取りを担当することになります。

基調講演は、大木さんや私が「ほぼ日」のファンだったことから無謀にも、「糸井さんを、福井へ呼ぼう！」と、奮闘（ちなみに、IT推進室メンバーでは何名か「ほぼ日スケジュール帳」

を愛用している）。

ほぼ日コンテンツにイラストを提供しているハーストリー (<http://www.herstory.co.jp/>) 副社長でイラストレーターさとうみどりさんへ、協力をお願い。2通ほど、代表メールアドレス宛に切々と思いを訴えたメールを送ります。さとうさんからも「ぜひ、実現に協力を！」と援護をいただき、お返事を期待して待つ日々。

また、モール大手のセッションでは、栗飯原さんを福嶋がご指名。これは、モールの方に集まっていただく提案をしたときから、漠然と頭にあつた布陣。（単に、久しぶりに栗飯原さんと会いたかった、という話もありますが…(笑)）

12月3日（水）

京開催LisNETシンポジウムへアピナス内田さんが参加。

Subject: Re: Web マスターサミット・宣伝してきましたよ。

一般の参加者には手当たり次第に2月にあることを宣伝しましたが、一様に関心を引きついても「何で福井で？」と言った感じでした。

口で言っただけでは忘れられるので、1月8日の大阪セミナーでのPRでは、名刺サイズのカ

ードにキヤッチコピーとURLを書いたものを用意し、配布しながら話したほうが良いかと思っています。

12月5日(木)  
打ち合わせ

やっと、プログラム案が、固まってくる。しかし、この時点でも講師は未定がほとんど…。



〈Bパート会場〉

12月8日(木)

大阪開催 LIZNET シンポジウムへ多数参加。会場では、名刺サイズ告知カードを配布。行き帰りの電車ではずっと打ち合わせ。

12月6日(金)

糸井さんがダメだったときの次点講演者探し  
が本格化(涙)。

12月19日(金)

糸井事務所からお断りのメールが入る。いったんあきらめたものの「ネット中継という形でも!」と、食い下がる福嶋!(我ながら、しつつこい)

しかし、やはり玉碎。あまりに多忙で、というのがその理由ですが、貧乏イベントだと聞き直つて、あの糸井さんに30万円の講師料(しかも交通費込み…)でお願しようとしたふてぶてしさは、今振り返っても自分にあきれてしまうほど(笑)。東京糸井事務所のOさま、その節は、ご迷惑をおかけしました…。

ただ、さすがに開催2ヶ月を切ろうとしているこの時点で、基調講演の講師が決まっていなのは非常にあせりました。それに、実は全体の29名の講師のうち半数は決まっていな、というよりも、全体のプログラムも最終決定していないという非常事態でした。「この辺が一番精神的につらかった」(大木さん) 時期でした。

このころ、大木さんは、込山さんや床さん、逸品の森本さん、ふあーすとらぼの村上さん、地域サイトネットワークの長坂さんなどに、個別にメールで助言を求めていたとのこと。「あまりに気の毒に思ったのか、皆さん、親身に相談ののっていただけたので、講師候補はよりどりみどりの状態になっていました(笑)。

講師との折衝もそれほど手間取りませんでした。ただ、29名もいますから連絡するにも時間は掛かりましたが・・・(大木さん)とのこと。ただ、それを知らない私たちはどきどきした日々を送っていたのでした。

1月7日(水)

Subject: プログラムの最終案です  
From: 大木@支援センター

これまでいただいた意見にそって、プログラム最終案(何度見!)を作りました。皆様にはひと言でも、プログラムへのご意見をいただけると幸いです。

それと、福嶋さんには非常に申し訳ないのですが、モールのパネルを基調講演のほうに持ってきたいと思っているので調整をお願いします。・・・と、書いてある間に、具のほうから正式に本イベントの実施についてOKができました。

これで表立って動けます(汗)

最終的にこのときの案を微調整して、最終案が決定しました。ただし、各セミナーの名称や、開催時間の設定、対象者に関する記述など、できるだけ多くの人に参加していただけるよう、調整作業は1月20日のチラシの原稿提出まで続くこととなります。

### 1月10日(土)

『SOHODメイン』誌のサイトに新着ニュースとして掲載されたため、サイトへアクセスが発生しだす。しかし、この時点では、名称も仮、プログラムは公開されていない、の、「ないづくし」(ためいき)。

あまりにも申し訳ないので、最新情報をお届けするメールマガジンを1つ急遽設定し、購読フォームを設置する事で、逃げた状態に。

### 1月20日(火)

このころ、事前告知目的のカラーチラシの作成が急ピッチで進行。朝までに1回目のゲラだし。

印刷屋さんドットコムデザイナー青木さんからのメールに添付された、確認用PDFファ

イルの作成日付は明け方の4時(涙)

### 1月21日(月)

チラシ校正作業兼、スタッフミーティングここで再認識したのが「支援センター」と「どつと混む」の担当分野。どこにどちらがどこまで責任を持つのか?

企画当初は、どつと混むの仲間としての大木さんでしたが、さすがに支援センターの、いえ福井県としてみてもかなりの一大イベントを主催するのです。IT推進室の皆さんの考え、また福井県としての考え、いろんなものを整理して、実施への体制を整えていた時期。

### 1月22日(火)

カラーチラシの校了予定日。しかし、この時点から講師が一人外れる事になり、「30人の先駆者」が、「29人の先駆者」になる。

### 1月23日(水)

スタッフミーティング  
支援センター(講師手配、予算管理)懇親会の内容決め、チラシの出力、印刷日。印刷屋さんドットコム・廣田さん、青木さんお疲れさま!



〈パート会場〉

### 1月24日(木)

サイト制作を開始

公開目標は、1月26日(月)朝だったため、土日の作業が続く…。

申し込み受付プログラムは、うえぶ職人工房のいまいさんが担当。私は、ひな形のレイアウト作成を担当。ひな形が出来た段階で、支援センターIT推進室のメンバーで分担しての、増産作業。

1月26日(月)

チラシが加工納品される。県内向けのアナログのアプローチが、ここでやっと可能となる。残された時間は、ちょうど後一ヶ月……。

4. 申込み受付開始！ひたすら広報&告知！

1月27日(火)

公式サイトを本格稼働。お申込み受付を開始。そして、スタッフミーティング実施。その結果、小林会長から、改めてMLへアナウンスが入りました。

どつと混む福井のセミナーに対する関わり方です。  
 基本的にサミットの主催は支援センターです。  
 どつと混むの担当は、講師アテンドと、懇親会担当です。

どつと混むの大きな目的は「講師陣のお迎え、交流」「懇親会担当」「来場者との交流」「セミナーへの参加」です。

・PR協力……各自のHPやメルマガ、ロコミ

で友達を誘って下さい！

・講師アテンド……センター大木さんが講師のスケジュールを調整しています。明確になり次第どつと混むサイドの担当者を決めたいです。講師アテンドリーダーもお一人お願いします。  
 ・懇親会企画・運営……大学でのセミナー終了後の懇親会を担当します。主に、当日会費の徴収とテーブルの設置です。後片づけは業者さん！その後講師や県外の方の送迎です。

1月30日(金)

大木さんより、はじめての申込者報告。出足はまずまず。(詳細は後述)



△Dパート会場

2月2日(月)

福井県副知事との懇親会。

参加者ははじめ緊張していたようですが、民間出身の気さくな副知事さんだったこともあり、すぐに和やかな雰囲気。いきなり「年商は？」と質問されてどきどきとした人も多かったとか(笑)

どつと混むの日ごろの活動内容や各会社の取り組みはもちろん、サミットの意義をどつと混む自らが直接アピールできたことで、メンバーの士気もますます上がりました。

また、副知事さんは、以降、サミットやどつと混むの活動について、何かと気にかけてくださり、イベント初日こそ県議会で来場できなかったものの、2日目には、お休みにもかかわらず会場の様子を見に、突然立ち寄られたりして、こちらが驚いてしまいました。

ちなみに、副知事さんは、産業支援センターの理事長でもいらっしゃいます。

この日、大木さんが発行担当者の、支援センターパソコン研修事業のメールマガジンにて、大木さんの思いがびっしり詰まった特別配信号が配信されました。

2月3日(火)

どっと混む配信元のプレスリリースをネット配信。

2月5日(木)

福井新聞掲載

地元で8割の世帯で購読されている福井新聞にそこそこ大きく掲載。人口80万人の福井ですが、その市場で圧倒的な影響力を誇る地元紙です。福井新聞には、PLUS岡本さんが、太いパイプがあり、小林会長が取材を受けました。

2月6日(金)

込山さんの日刊たみこ新聞に、サミットの告知が掲載。この前後で、MLやメールマガジンでの掲載(詳細は後述)が続き、毎日報告される申込者数の増加ペースに、一安心。

この時点での懸念事項は「有料セミナー受講者は、もう十分に集まっている。問題は広い会場の無料セミナー」。以降は、ネットももちろんだけれど、県内でのアピールもがんばろう!という考えに。

2月11日(水)

朝日新聞地方版掲載

2段でかなり大きめの扱いで掲載。これも、PLUS岡本さんルートが功を奏しました。

2月13日(金)

どっと混む2004年発足会

福井県中小企業のIT活用を取材されていた『日経アドバンテージ』記者さんも参加。発足会前に、サミット懇親会準備メンバーの打ち合わせを実施。この席で「せっかくの機会。懇親会会場でメンバーのPRスペースを設ける」事が決定。まとめ役にはクイックアート・飛山さんが。



ブースの様子

2月17日(火)

大木さん東京出張

六本木の楽天内会議室にて、ゾーン1参加メ

ンバーにて事前打ち合わせを実施。とても和やかに終了。「栗飯原さん、お会いしてファンになりました」と一言つぶやいた大木さんを、私は見逃しませんでしたよっ(笑)



## 5. 開催まで1週間、まだどたばたは続く

：

2月20日(金)

直前のアクシデント！

楽天さんから、急遽出席できないとの連絡が入る！そんな、目玉なのに……。と大木さんと私は大あわてで頭が真っ白状態。しかし、楽天抜きでやるしかない。今からでは、企画の変更や印刷物の差し替えもできない。期待している受講者に対して申し訳ない気持ちでいっぱいになりつつも、月曜日に、申込者にお詫びメール(FAX)を送る事に。

2月23日(月)

夕方放送のローカル番組イベント告知枠で、しっかりとアピール。出演者は、はんこねっと・小林会長、富士屋玩具・藤井さん、下村漆器・下村さん、大木商店(酒屋さん)・大木さん。

おそろいのスタッフジャンパーに蝶ネクタイまでつけて(笑)。決めの言葉は「検索キーワードは、webサミット!」ちゃんと、検索してたどり着いた方がいた事は、アクセスログでチェックできました。

アロマハウス・大村さんが「懇親会で景品をだし抽選会」案を投稿。寄付景品のとりまとめ役をかってでた。各社から提供メールが山のよう。

2月24日(火)

FM福井へはんこねっと・小林さんとポージー・ポージー・木村さんコンビで出演。お昼時に8分間も時間をいただいていたのアピール(通常3分枠のところ8分も)。これは富士屋玩具・藤井さんが、FM福井の営業の方と前々から懇意だったために実現できたこと。

心配された、楽天さん欠席によるキャンセルは、1名様のみ。ほっと胸をなで下ろす関係者。

2月25日(水)

講師陣のアテンド担当が最終確定。ここで、どっと混むメンバーの現場での人員配置がようやく固まる。

2月26日(木)

福井新聞と県民福井(中日新聞系列)で、ネット中継についての記事掲載。夕方のNHKローカルニュースでは「明日の県内のうき」として、イベント情報の紹介も。

## 6. いよいよイベント開幕

2月27日(金)  
サミット初日

朝から雪。よりよりの悪天候。無料セミナーのみ受講の県内ユーザーの「やっぱりやめた」が続出しないか、スタッフ一同に不安が募る……。しかし、開場時間に近づくほど晴れ間が出てくるし、来場者数は順調な様子。

セミナーでは、これといったトラブルもなく、各会場とも大盛況。

懇親会では、皆さん話しこんでいたため、せっかく当選したのに「おまえら聞けろ！」の嵐で(笑)、当選者がいるのに、引き取られなかった景品も多数！

懇親会の後は、二次会、三次会と講師陣宿泊のホテルで、それはそれは濃い時間が流れました。そして、どっと混むメンバーの多くは、お役目だった「懇親会を無事成功させること」を全うした事で、すでに「ああ、いいイベントだった」と、まるでもう終わったような気になって、翌朝集合する事になります(笑)。

2月28日(土)  
サミット2日目

朝というのに、お疲れの表情のどつと混むメンバー(笑)。揃って「お客様モード」で受講したDパートでは、初日とはまた違った視点・切り口で、地方を考える時間をもって、私自身はDパートが一番心に響いた。パートになりました。

### ■まとめ・そして来年に向けて

来年度開催の「Web マスターサミット」高知」が集客も含め、成功するかどうかは、

1. 公的な予算を確保し、受講料を下げる
2. 魅力的なプログラム内容
3. ボランティアスタッフの充実
4. 積極的な広報

この4点に集約されると思います。

まず、この1と2をクリアすることで「遠方であっても行く価値がある。こんな値段で受けられるなら、交通費も安いもの」が実現できます。この2つは、特に早めに動く事が大切ですね。

福井の場合は、どうだったのか？順に追って

みましょう。

### 1. 公的な予算を確保し、受講料を下げる

出来る限り公的な予算から寄せ集めた事で、充実の無料セミナーを2本用意、有料セミナーは内容の充実を考えると破格値の1セッション3000円を実現できました。

10月の時点でサミットを開催する話が出はじめたため、支援センターとして11月〜12月に開催予定で予算を取ってあったセミナー事業予算(補助率は必要経費のほぼ全額)を使わずに温存、サミットにあてる事ができました。

これが11月にセミナー開催が決まった後であれば、予算的に厳しく、実現出来ていなかった可能性も(または確実に参加者負担が重くなっていたでしょう)。

大木さんは、そのセミナー予算以外にも、福井県からの補助事業(補助率は必要経費の約2/3)であるパソコン研修(情報化人材育成)事業の予算をサミットに転用できるよう県の担当者に要請、ここで県の担当者に趣旨を理解してもらえたことが、「県内部の説得に大きな力になった。県の担当者にも恵まれた」(大木さん)とのこと。

予算の組み替えは、県の担当者にとっても大きな負担となる作業なので、やりたがらない方もいらっしやるそうです。今回の担当者の方には、私もどつと混む発足の席でお会いしましたが、逆に後押しをしていただけのような方でした。

こういった一連の予算確保に向けた動きは、普段から県民向けにビジネス系イベントを手がけている支援センターとしては、さほど難しくない事でしょう。しかし、私がやれ、と言われたら、まず補助制度がどんなものがあるのか、そこから調べないといけません。ムリです(笑)。

ですので、各地で開催するとすれば、支援センターのような公的機関が主催になって、人的にも予算的にも盛り立てる必要があるでしょう。公的機関主催であるメリットは予算の面だけでなく、メディアに対する信頼性の確保や、全くの初心者の方に対しても安心感を持っていただける、ということもあります。

今回は「最初に予算ありきのイベント」ではなく、「やりたいからお金をかき集めた」ものでした。

本来なら、最初に予算申請ができればいいのですが、「スタッフ陣が盛り上がりつつある良いタ

「イメージ」で開催出来るか、微妙なところなのは、前述の大木さんのメール引用の通りです。この「さじ加減」も、地方開催イベントの難しいところではないでしょうか。

## 2. 魅力的なプログラム内容

そもそも、どつと混むメンバーの勉強会の拡大版という位置づけでスタート。そのため「自分たちが、話を聞きたい講師の方を福井によんじゃえ！」が、基本です。

足かけ3年に渡り、どつと混むメンバーや支援センターが、込山さんや森本さんなど、業界のキーマンとの交流を深めていたため「お金がないけど、お願いします！」とムリなお願いができたのが大きな要因でした。

過去にイベントスタッフ側だった事が多かった私などが「遠慮せず、安いけどお願いします。って正直に言ってみないと始まらない」と断言。

大木さんに「ホントに？大丈夫？」と不安がられていたのも懐かしいエピソードです。快諾いただけた講師の皆さんには本当に感謝です（気になる講師料金は…？通常の1/2から1/3。交通費ぐらいいはでるけど…、とだけ、書いておきますね）。

しかし、問題点もありました。

全体的なコンセプトの意思統一に時間がかかってしまい、開催日は決まっても、告知がでない状態が続きました。

- ・ 「サミット」という名称が、いわゆる「先進国首脳会議」レベルでしか考えられない関係者がいた（！）ため、名称決定が難航
- ・ セミナー内容で、大木さんと、どつと混むメンバーで、温度差が生じていた（どつと混むメンバーでは、デザインツールの使い方等、実務的な内容希望の声が根強くあったため）

- ・ 会期は、当初は「2日間みっちり」と講義を展開しよう」という話しが、徐々に「講義は1日目集中でやろう。2日目は早めに終わろう」と変わったこと

- ・ 1月に入った段階、最後の最後に、福井県では関わる人口比が他県に比べ非常に高い、製造業向けのセミナーが入ったこと

このように全体的な変遷があり、プログラム確定まで、とても時間がかかりましたが、最終

的にはそこで時間を掛けたことで、決まってからは、全体としての意思統一ができ、最後の追い込みに、力を発揮できた、と感じています。

## 3. ボランティアスタッフの充実

どつと混むメンバーには、多彩な人員がそろっており、かつ数年にわたって飲み会を繰り返した（笑）結果、生まれた信頼関係のもと「仲間として、自分たちを応援し、受講したいセミナー企画を実現させてくれている大木さんに恩返ししたい」「福井もがんばってるな」と、自分たちで発信しよう！と、一丸となって気合を入れてがんばれたのが大きかったですね。15  
各担当をご紹介します。

### ● 広報関係

- ▽ 「県内メディアにも精通したマルチ販促プロデューサー（PLUS 岡本さん）⇒県内広報」
- ▽ 「ネット上でのネットワークが強みの広報ディレクター（私、福嶋）⇒県外向け広報」
- ▽ 「全国のユーザーに対してメルマガで告知ができる（各社）⇒県外向け広報」

● 会場設備関係

▽ 「印刷ならお任せ！（印刷屋さんどつとこむ・廣田さん） 〓突貫作業での事前配布用カラーパンフレットのデザイン印刷、会場配布のプログラム印刷」

▽ 「おもちゃ屋さん（富士屋玩具・藤井さん） 〓バルーンの用意」

▽ 「アイロンプリントシートメーカー（クイックアート・飛山さん） 〓様々なグッズ作り、どつと混むブースの全体総指揮」

▽ 「昨秋まで会場の県立大学でお仕事していたため細かい部分に精通（プリントマート・石塚さん） 〓重要なたべもの関係の手配」

▽ 「ビデオ撮影にも明るいうェブコンサ会社（サーフボード） 〓ビデオ撮影・データ制作が得意なウエブコンサ会社（サーフボード） 〓ビデオ撮影・データ制作が得意なウエブコンサ会社」

さらに、インターネットの普及期から支援センターとおつき合いがあった

「福井大手のプロバイダー（三谷商事さん） 〓当日のリアルタイム動画配信&後日公開された動画配信」

「福井市を含んだエリアのCATV（福井ケ

ーブルテレビ） 〓県内広報・後日番組として講演の様子を放送」

「支援センターとは隣接した立地で過去に何度も利用している会場（福井県立大学 交流センター）」

など、インフラ面での支援も、各方面から提供いただく事ができました。

有料セミナーの会場は、定員増のため、当初の会場から変更となり、県立大学の教室を一部使わせていただきました。一般貸し可のメイン会場「交流センター」と異なり、一般開放していない教室の利用が可能となったのは、やはり関係性の深い公的機関主催だったから、と言えるでしょうね。

終了後、MLへの「長坂さんが、どうして来年も福井でやるって言わないの？」と言ってましたよ」に対し、大木さんはこう語ってました。

「このサミットを企画したときに、全国持ち回りでもやってもらえるくらいに成功させることが目標というか夢でしたからね。

今になってみれば『勿体ない』って気持ちもないことはないけれど、初志貫徹ってことで（笑）。こんなことは、福井県内だけでやっていても、徐々に衰退していくでしょうし、新しい出会いも生まれにくくなりますから。

まあ、本音を言っちゃうと、いろんな地方へ行って、いろいろな美味しいものを食べながら勉強するってのがいいなあって気持ちがありますから（笑）」

「今回は、いろんな部分でタイミグがよかったから成功できたけれど、来年もう一回やってOKかは微妙ですよね。

個人的にも、今までの『お付き合いの貯金』を一気に使い果たして残高がゼロになっちゃった気がしますし（笑）」

ちなみに

「福嶋さんは、どつと混む入会後間もないし、支援センターでも僕個人としても「お付き合いの貯金」もほとんどないし地元出身でもないのに、何でこんなに協力してくれたのか、不気味です（笑）」

とも。（笑）

#### 4. 積極的な広報の展開

・地元メディアでの露出をがんばった（テレビ・ラジオ・新聞とテナログマスメディアの活用）  
・地元の話題に、地元メディアの記者さんたちは、飢えています。積極的に情報を提供すれば、

中身が良ければ、必ず取り上げてもらえます。  
 (ただし、掲載日は事件等とのかねあい遅れる場合も。少し余裕をもった接触が◎です。)

・豪華講師陣は、各人がメールマガジンの発行者であり、人気サイトの運営者。出来る範囲での告知をお願いした。

・ごつと混むメンバーが、各自知り合いに案内。もちろん、自社メルマガでの告知も。

・ターゲットに近い近県開催イベントでのチラシ配布(東京・大阪開催のL i s N E T シンポジウム、独立改行支援のドリームゲート主催、大阪開催一大イベント)

・各種ネット関係のMLやメルマガへ投稿&プレスリリース配信を実施

この部分は、皆さんも具体策が気になるところかと思しますので、詳しく書きますね。

● プレスリリース書き方については、省略させていただきます。配信サイトの紹介を。

サービス名	URL	特徴
プレスネットワーク	<a href="http://www.pressnet.tv/">http://www.pressnet.tv/</a>	5250円固定、定番
Netry プレスセンター	<a href="http://www.netry.com/press/">http://www.netry.com/press/</a>	こちらも定番。無料。
リリースステーション	<a href="http://www.s-pr.com/rs/">http://www.s-pr.com/rs/</a>	事前会員登録要。無料。
News Release Japan	<a href="http://www.newsrelease.jp/">http://www.newsrelease.jp/</a>	無料。
JPressOne	<a href="http://www.jpessone.com/">http://www.jpessone.com/</a>	事前会員登録要。無料。
サンソウカン de 記者会見	<a href="http://www.sansokan.jp/interview/">http://www.sansokan.jp/interview/</a>	関西エリアは一押し、事前会員登録要。無料。
AEROPRES	<a href="http://noblemind.tsukaeru.jp/aeropres/">http://noblemind.tsukaeru.jp/aeropres/</a>	基本210円+個別21円。ローコスト。
e-NEWS PRESS	<a href="http://www.interq.or.jp/blue/maxyn/yomiura/news/">http://www.interq.or.jp/blue/maxyn/yomiura/news/</a>	無料。

- ▼ メールマガジン
- ▼ 日刊デジ・クリ (2万部)  
<http://www.dger.com/>
- ▼ 関西インターネットプレス (5千部)

●

- ▼ <http://backno.mag2.com/reader/BacK?id=000000122>
- ▼ がんばれ！在宅ワーカーママ (3千部)  
<http://www.herstory.co.jp/wahm/>
- ▼ メールングリスト
- ▼ LIFE (女性&EC限定)  
<http://www.life-nl.com/>
- ▼ ネット活用倶楽部 (ネット販促)  
<http://www.nk-club.com/>
- ▼ 会員限定ML
- ▼ W-step (Web制作者)  
<http://www.w-step.com/>
- ▼ スキメシ (関西中心の起業家)  
<http://www.sukimeshi.net/>
- ▼ SOHOWORK (SOHO関連)  
<http://www.sohowork.net/>
- ▼ D-DONE (SOHO団体が加盟)  
アンシエイツML  
<http://www.d-one.coop/associates/>
- ▼ ドリームゲート (存続起業支援)  
<http://www.dreamgate.gr.jp/>

これらは私が直接投稿、編集長宛に掲載依頼のメールをしたものに限られます。他にも、OSMC関連や、講師陣のメルマガで、短期間に大量の露出が発生しました。

MLは、ネットビジネス系を中心に、行いましたが、MLへ、宣伝投稿だけするの

は、とても印象が悪くなります。いつも、投稿している方に代理投稿をお願いするとか、積極的に参加しているMLだけに限る、などの配慮は必要です。

受講者アンケートの結果、傾向としては、郵送DMを3万部もまいた割には、郵送DMの比率が少ないような気がします。やはり、ネット系のイベントは郵送DMでなく、メール、クチコミが良い事がわかりますね。

●配布DMの内訳

- ・支援センター発行、月刊機関誌「FLOM」へ、発送予定を2日ずらして折り加工終了はほぼやを封入し、発送。
- ・福井県下商工会あてに1万部
- ・商工会各位は会報送付用DMに同封し会員に向けて発送。
- ・福井商工会議所「所報」に9千部折り込み

ネット経由では情報が早いので、大丈夫だとは思っていましたが。プログラムが確定せず、正式な広報活動が1ヶ月前からしか出来なかったのは、予想外で、さすがにちよつと焦りました(笑)

先行して、情報提供していた「SOHODメイン」誌3月号(1月13日発売)では、かなり初期のプランが掲載されてしまった(もちろん

ん仮と入れてもらっての掲載で、問題はないのですが)、という事もありました……。

■集客状況の推移

	無料セミナー		有料セミナー			
	ゾーン1	ゾーン2	Aパート	Bパート	Cパート	Dパート
1月30日	40	25	18	15	3	17
2月1日	63	38	35	41	23	46
2月3日	78	54	48	46	27	50
2月4日	104	60	54	55	31	54
2月5日	122	68	63	61	35	56
2月6日	147	103	75	76	41	59
2月7日	152	103	78	78	42	70
2月8日	153	103	79	79	43	70
2月13日	198	130	89	81	48	85
2月23日	252	163	100	130	70	100

■最後に

今回のサミット開催にあたり、本当に様々な方が趣旨に賛同いただき、協力を惜しまず関わってくださいました。皆さんのコメントをご紹介します。

○仕掛け人であり発起人、福井県産業支援センター IT推進室の大木さん。

実は、このイベントは、私が、かれこれ6年くらい前からあなたため続けてきた企画で、半分「夢」みたいなものでした。

その「夢」がかなったのは、あるひとつの出会いがきっかけでした。そう思うと、人との出会いが大切なんだな、つてしみじみ思います。

その出会いとは、実は床さん、あなたです(笑)。

大阪産業創造館で僕と同じような仕事をしていたにもかかわらず、それこそ数年できちんとしたビジネスモデルを作って、起業までした。

このことに大きな衝撃を受けたと同時に、僕のようなポジションにいても、全国を動かす「こと」ができるのではないかという可能性に気づくことができました。

そして、その床さんとの出会いを与えてくれたのは、込山さん。込山さんとは、2年前に単発の講演会講師をお願いしてからのお付き合いです。

さらに遡れば、6年前に丸市食品

(<http://www.marichi.co.jp/>)の藤村さんやどっと混むとの皆さんとの出会いがあり、僕をここまでネット通販の支援に引きずり込んだ、と(笑)。

サミットのアイデアは、藤村さんとの出会いのときにひらめきました。

丸市食品は福井の企業ですが、このときから藤村さんは岐阜にいて、実家の家業である丸市食品さんのネット通販を担当されていて、その事に感心。離れていても、商売をもり立てているのはネット通販ならではです。

全国にいる藤村さんみたいな人(バイタリテイがありますから)を福井に集めて、「サミット」すると面白いかなと思って、漠然と思い描いた事が、形になったのが、今回のサミットです。

人の輪に入ることによって出会いが生まれ、出会いが生まれることによって、新たな可能性が広がっていきます。自分自身が経験した事・

そのチャンスをもっと多くの方に経験していただくお手伝いができれば、と思っています。来年度のサミットも、ぜひがんばってください！

○ 会長になっていきなりの大仕事！ ほんこねっと店主小林さん

(<http://www.hankonet.com/>)

感動！情熱！愛！勇気！こころ！友情！……

福井にいつばいの置きみやげをいただき、有り難うございました！

一同、持てる力にて精一杯のおもてなしをさせていただきます。

同じ目的を持ち、互いを認め合い、尊敬しあえる仲間が集まると、こんなにも大きな力になって、大きな波を引き起こすことが出来るのだと、あらためて実感いたしました。

「日本の田舎まち福井の地」から、今後も熱いメッセージを送り



続けますので、どっと混む福井を、そしてメンバー達一人一人のお付き合いを、今後も是非よろしく願い申し上げます。どっと混む福井を代表して御礼を申し上げます。

PS：今回小林は裏方に徹しましたので、来場いただいた皆様と十分お話ができず残念です。またお会いできる日を楽しみにしております。

○ 福井のリアルイベント仕掛け人・マルチ販促プロデューサー PLUS・岡本さん

会議や大会・総会などに参加したとき、出席の満足度はホスピタリティにかかっています。しかし、受け入れ側も楽しんでもてなすからいのもでなければ、単なる「行事」になってしまう。

その点で、今回のサミットは御来場各位より受け入れ側の私たちが楽しませてもらった気分が濃いついのが皆の感想ではないかと思う。

懇親会や、アナログ展示場の設えは2週間前まで全くの白紙同様。それをスタッフが分担して一気に、「やり遂げてしまった」と言う方が正確かもしれない。

顔をあわせて懇親会のリハーサルをしたのはたった1度。セミナー会場だった会議室を、椅

子をすべて片付けて、テーブルや料理をセットし、開場までたった25分で宴会場に早や変わりさせてしまったのはイベント初体験のどっと混む福井のスタッフたちだった。

また、播州ハムの堀田さんからはオードブルの足しにしてくださいと大皿5つ分の味を極めたハムやローストビーフを。出張で出席できなかったメンバーの越乃磯 福井ビール工房の磯見さんからは地ビール60分本が差し入れられ、粗食しか用意できなかった懇親会メニューは一挙に華やかな「御馳走の宴」へと大変身した。



この、サミットは支援センターの大木さんが灯した小さなマツチの火に、スタッフが次々に油をそそぎ薪をくべ、今回の大きな火になった。

何でも、言うことだけは出来るけれど、具体化しようと思うと壁や溝が多いもの。目的意識をもった、小さな具体的行動の積み重ねが「成果」を上げる時に最大の条件なんだってことを改めて感じた日々であった。

○懇親会の幹事、そして印刷部分で強力に支援。印刷屋さんドットコム廣田さん

サミット、大盛況の内に終わって良かったですね。皆さんお疲れさまでした。

大木さんが、酒を飲んでいた時に、ちよつと話したことが、まさかここまで大きくなるイベントになるとは思いもせませんでした。

今回のイベントに参加された方で、是非入会したいと思っている人も何人かいましたね。

講演を聴いて、また直接飲む機会を通して、一貫した経営哲学が有って、その次にSEOとかメルマガが有るんだと感じました。とかく、技術に走りがちなんですけど、検索にかからないと騒ぐまえに、ホームページの充実及び、自分のポリシーを見極めることが大切なんです。

○会場脇に設営されたアナログ展示場責任者  
クイックアート飛山さん

今回、「WEB SHOPアナログ展示場」を企画させていただきました。「どつと混む福井のメンバーは、こんな商品をWEBではこのように売っているんだよ。」というコンセプトで、セミナーにご来場いただいた方々が、休み時間などに退屈しないよう、商品展示ブースを設け

させていただきます。

小さなスペースでの展示でしたが、商品やパンフレットを見て、それぞれ商談や問い合わせもあつたようで、目的は達成されたかなと思っています。

このアナログ展示場のアイデアが出たのは、サミット開催の2週間前。時間がなく忙しい中、全員に出展協力してもらえたことが、何より嬉しかったです。



また出展された商品を、懇親会での景品に快く提供していただいたことも、こちらの狙い通りでした(笑)

他より目立つよう、飾りつけに工夫を凝らしたり、場所取りの争奪戦が行われたり、など、準備作業もワイワイガヤガヤと楽しいものがありました。

一つ悔やまれることは、裏方の作業ばかりし

ていましてのでセミナーを一つも聞くことができなかつたことですね……せつかく著名な講師の方々が福井に集まったというのに、すみません。来年、高知で一から勉強させてもらいます。m(\_)\_m

○ 福井本社のスタッフほとんどを会場に動員して！の、支援。サーフボード田嶋さん

サーフボードのお客様は、今回参加されたWEBマスターの方です。

それらの方々一堂に会するわけですから、当社のスタッフにとってまさに、「お客様から、生の声をお聞きすることができるチャンス」だったわけでは。

スタッフにとっては、「自己研鑽」の場であり、また、サーフボードにとっては、またとない会社アピールの場でした。

サミット終了後、全国からWEBリニューアルに関する問い合わせがたくさん寄せられまして、現在企画書作成が続いています。

○ ショップ支援ソフト「イツツ通販」インフォテックニカ岡崎さん

皆さんお疲れ様でした。大木さんを始めとして行動したこの「Webマスターサミット」に

講師の方が共感し、参加くれたこと。

また、この大会の趣旨・講師陣に共感し、参加された多くの聴衆。これを支えたどつと混むの人たち。やはり、まさに大木さんのいう「愛」かなー。

集客も成功でしたが、この多くの人が立派な講師の方のいい話を多く持って帰れたこと、もつと大きな成功でした。



○ 米五のみそ 多田さん

サミットは大盛況のうちに終わりましたが、本当に大木さんをはじめ、段取りに裏方に対応されてご苦労様でした。

本当にたくさんの方がこられたし、また、み

なさん、とつても満足されたのではないでしょうか？

今回のセミナーで日本のトップWebマスターの話を聞くと、メルマガにしるSEOにしる、ちゃんと勉強して、いつでもできるスタンズにありながらポリシーでやっていないと言うか、自分の方向性とやるべきことがきちんとマッチしている方が多かったと言うことを感じました。

○ ネット中継、ストリーミング配信に中心メンバーとして活躍した、三谷商事株式会社のSEさん

(<http://www.mitene.or.jp/mitani/>)

今回のイベントは、福井県においては例をみないネット系イベントで、本県でインターネット接続プロバイダー、WEB、ストリーミング事業にかかわるものとして、何らかの形で関わりを持ちたかったので、協力者を探しているという話を聞いてすぐに立候補しました。

個人的にも、福井という全国的にみれば僻地からでも、ネットを使えば全国レベルのコンテンツを発信できるという事例を示したいと常々思っていましたし、地元プロバイダーであるミテネインターネット、福井ケーブルテレビを使っても全国レベルのインフラ網を使うのと差が無いことを県内企業にアピールしたかった。今

回はその絶好の機会だったのです。

また、ビジネス的な観点から言うと、本県でなかなか浸透しないブロードバンドビジネスの文化を、この機会を使って少しでも広めることで、当社が今後展開する予定のネット事業の環境作りにも少しでも寄与すれば良いとも考えました。

全体的に格好いい話になりますが、そういう気持ちで今回のイベントにかかわったということになりますね。

### ○ミーツ・コミュニケーション・デザイン 福嶋より。

私自身が「厚かましいといえば、筆頭にあがる大阪出身」なだけあって、とってもあつかましいんですね(笑)。関西の方は結構クチにしますが、やはり阪神淡路大震災を経験している影響(いつ死ぬかわからない、という事)もあるのでしょうかね。

福井に来て、感じたのが「皆さん謙虚だなあ」と言うこと。しかし福井出身のオット曰く「謙虚は、恥をかきたくないの裏返し。単にプライド高いだけですよ。」ということだそう(あつ、福井の皆さん怒らずに(汗))。でも「何か売る」ときは、「謙虚すぎては売れ

ないのでしょ？もつとアピールしてもいいのでは？」そう感じる事が多くて、歯がゆい思いが常にあったのです。

広報やプロモーションを手がけているだけに、「こんないいものを作っている・売っているのに、アピール不足！」そういった「私自身が感じている不満」をぶつけるのにも、サミットは格好のイベントだったのです。

また、岸さんはじめ、懐かしい面々との久々の再会も。

会社員時代、関西のネット関係のコミュニティで活発に開催されていたイベント(KNN神田さんが発起人、3年間ほど開催していた『関西ウェブマスターオフ』&出張開催『関東ウェブマスターオフ』『栗飯原さん主宰の女性限定EC専門ML』『LIFE』の『関西メンバー主催のセミナー』など)でのスタッフ経験から「おもしろい企画と熱意あるスタッフがいたら、人は集まる」という自信がありました。福井でもネタさえよければ、十分集客できると確信していました。

今回のイベントを通して「どつと混むメンバーの自信にもつながったんじゃないかな」と、ほくそ笑む私です。みんな、もつと自信をもつて欲しい。いいものはいい！って自慢したらいいんですよ。

縁あって、私のすみかとなった福井でイベントを大成できたことは、きっと私の今後にも大きく影響を及ぼす事でしょう。

そして最後に、えとコミ塾の皆さん。皆さんの力添えがなければ、これだけの大成はありませんでした。本当にありがとうございます！これからも、福井を応援してくださいね♪



△編集長より▽

今回のイベントの素晴らしかったところは、「無事、成功」を越えて、講師陣たちに「大きな感動」を残したことだと思います。

それは、会長の小林さんがおっしゃっているとおり「持てる力で精一杯のおもてなし」をしていただいから。

きっと、どの講師も、福井を大好きになって帰られたことでしょう。

もちろん私もそのひとりです！

「地方って、なんてあたたかいんだろう！」

という感想をもって、キーマンたちが各所に戻っていかれたことが、今回の一番の成果ではないかと思えます。

「地方の活性化」ということが、声高に語られています。百の理論より、一度の体験のほうが、多くを伝えてくれるということを実証してみせてくださったこのイベント。

来年の高知で、どんなふうに関われるのか、いまからとっても楽しみです！

▼PR1 南青山で展示会実施します

さて、そんなどつと混むメンバーの活動は、今回のサミットを契機に、さらに外へと飛び出します！

2004年5月29日(土)に、南青山にて展示即売会を開催します。

会場：「南青山291」  
<http://www.ma291.jp/>

東京都港区南青山5丁目4-41

地下鉄千代田線・銀座線・半蔵門線「表参道駅」

B3出口より徒歩3分

このプロジェクトの始動で、おそらく再びいろんなところで、皆さんの目に留まるはず。首都圏の皆さん、お会いできるのが楽しみです！詳細は、また随時どつと混むのサイト等で、お知らせします。

▼PR2 共同懸賞企画に参加しませんか？

どつと混むでは、自社ドメインショップさんを対象とした合同懸賞企画を4月下旬～5月下旬までの約1ヶ月間開催予定です。メンバー以外のショップさんも大歓迎！興味のある方は、事務局担当、メールアドレス [yuko@meets.jp](mailto:yuko@meets.jp) まで！

▼PR3 ショップ支援を行っています

ミーツ・コミュニケーション・デザインでは、プレスリリースの作成・配信代行を軸に、懸賞企画の支援やメルマガ発行代行など、ショップさんの露出アップのお手伝いを行なっています。興味のある方は、ぜひ一度ご相談ください。同じく、メールアドレス [yuko@meets.jp](mailto:yuko@meets.jp) まで！